

山梨県 公立高校の入試制度

【2021年度版】

選抜概要

- 山梨県の公立高校入試は、前期選抜・後期選抜の2回あります。

	出願期間	志願変更	検査日	合格発表
前期選抜	1/15(金)～19(火)	—	1/28(木)・29(金)	2/5(金)
後期選抜	2/16(火)～18(木)	2/19(金)～24(水)	3/3(水)	3/12(金)

- 出願は、原則1校1学科に限ります。
ただし、一括募集を行う場合は、1学科とみなします。
- 入学許可予定者が募集定員に満たない場合は、再募集を実施します。

前期選抜

- 前期選抜は、全ての高等学校・学科において実施されます。
志望する動機や理由が明白・適切であり、各高校が定める「出願の条件」に適合すると自ら考える者が出願できます。
募集人員は次に指定される4つの範囲から各学校長が決定した比率をもとに、山梨県教育委員会が定めます。

- ・普通科…募集定員の40%以内
- ・専門教育学科（理数科・文理科・英語理数科・探究科）…募集定員の40%以内
- ・職業に関する学科…募集定員の50%以内
- ・総合学科…募集定員の50%以内

●選抜資料

①面接

②調査書…各教科学習の記録など

評定は、中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）が対象
ただし、特定学年を2倍換算する等、募集する科・コース等によって、換算方法や取り扱いが異なる

※中3の評定は令和2年12月末日までの成績

③学習活動及び生活状況に関する所見…志願者の学習活動及び生活状況について、 学校長が3つの基準（A～C）を用いて評価したもの

④学校採択による検査…特色適性検査、特技、個性表現のいずれか （複数可、実施するかも含めて各学校により決定）

- 各学校が定める「選抜資料比重」に基づき、上記の資料を用いて総合的に判断し選抜を行います。面接以外の検査内容や選抜資料比重、普通科に設置されるコースの選抜方法の詳細などは事前に発表されるので、必ず確認しておきましょう。

後期選抜①

●募集人員は募集定員から前期募集の入学内定者を減じた数をもとに、教育委員会が定めます。

また、普通科、専門教育学科、総合学科、職業に関する学科の2学科以上が設置されている場合、以下の学科間で第2希望まで志望順位を付けることが可能です。

- ・普通科と専門教育学科
- ・北社高等学校及び笛吹高等学校の普通科と総合学科
- ・都留興譲館高等学校の普通科と工業科
- ・青洲高等学校の各学科

その他、職業に関する2つ以上の小学科を設置し、小学科別に募集を実施している場合は、小学科に第2希望まで志望順位を付けることができます。

後期選抜②

●選抜資料

学力検査	国語，社会，数学，理科，英語（各100点） ※傾斜配点を行う場合あり（各学校・学科により決定）
調査書	特別活動の記録，校外活動の記録及びその他の特記事項 ※各学校長が定めた基準により，1～30の段階で評定する
	評定は，中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）が対象 ①各学年 国語，社会，数学，理科，英語の評定の合計を2倍 ②各学年 音楽，美術，保健体育，技術・家庭の評定の合計を3倍 ①と②を合計した数値を評定合計値とする ※中3の評定は令和3年1月末日までの成績

●選抜方法

調査書の記録及び学力検査の成績により総合判定し、選抜を行います。

特定の学科間で第2志望まで志望順位を付けることが場合の選抜は、以下のような手順になります。

1. 募集人員の90%をその学科の第1志望者から選抜
2. 90%枠の選抜に入らなかった第1希望者に、その学科を第2希望とする者を加えて、差を付けずに選抜

なお、その学科を第1志望とする受検者が募集人員の90%に達しない場合は、第2希望とする受検生から選抜します。

●追検査

新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者、その他インフルエンザ等の感染者、感染症の疑いのある者、公共交通機関の遅延等の理由で学力検査を欠席した場合（5教科全てに限る）は、追検査が受検出来ます。